



## アクセスポイントの設定と配置

このセクションでは、APをコントローラに接続する方法を説明します。APを設定する方法の詳細については、該当するリリースの『[Cisco Wireless Controller Configuration Guide](#)』を参照してください。

- [コントローラ ディスカバリ プロセス, on page 1](#)
- [ワイヤレスネットワークへのアクセスポイントの導入, on page 2](#)
- [アクセスポイントのLEDの確認, on page 3](#)

## コントローラ ディスカバリ プロセス

Cisco AP が AP として機能するためには、コントローラに接続し、クライアントへのサービスを開始する必要があります。シスコは、コントローラ ディスカバリ プロセスと呼ばれるプロセスを使用して、コントローラに接続します。デバイスは、中央管理型アクセスポイントプロトコル (LWAPP) を使用して相互に通信します。AP は、ネットワーク内の物理的な場所や論理的な場所に関係なく、コントローラに接続して連携できます。新しい AP には、追加設定なしで、サブネットに関係なくどこでも接続できます。接続されると、コントローラを特定し、コントローラバージョンのソフトウェアイメージと設定を取得します。この情報が AP に送信された後、クライアントへのサービスを開始できます。

### 注意事項と制約事項

- AP の名前にスペースが含まれていると、コントローラの CLI を使用して AP を編集したり、クエリを送信したりすることができません。
- コントローラが現在の時刻に設定されていることを確認してください。コントローラをすでに経過した時刻に設定すると、その時刻には証明書が無効である可能性があり、AP がコントローラに接続できない場合があります。

AP をネットワークで有効にするには、コントローラが AP を検出する必要があります。AP では、次のコントローラ ディスカバリ プロセスがサポートされています。

- ローカルに保存されたコントローラ IP アドレスによるディスカバリ：以前に AP がコントローラに接続されていた場合、プライマリ、セカンダリ、ターシャリの各コントローラの IP アドレスが AP の不揮発性メモリに保存されます。今後の導入用に AP にコントローラ

の IP アドレスを保存するこのプロセスは、「AP のプライミング」と呼ばれます。プライミングの詳細については、[設置前の設定（任意）](#) を参照してください。

- DHCP サーバによるディスカバリ：この機能は、DHCP オプション 43 を使用して AP にコントローラの IP アドレスを割り当てます。Cisco スイッチでは、通常この機能に使用される DHCP サーバオプションをサポートしています。DHCP オプション 43 の詳細については、[DHCP オプション 43 の設定](#) を参照してください。
- DNS ディスカバリ：AP はお客様のドメインネームサーバ (DNS) を介してコントローラを検出できます。AP でこれを実行するには、CISCO-CAPWAP-CONTROLLER.localdomain への応答としてコントローラの IP アドレスを返すよう、DNS を設定する必要があります。ここで、localdomain は AP ドメイン名です。CISCO-CAPWAP-CONTROLLER を設定することにより、お客様の既存の環境で下位互換性が実現します。AP は、DHCP サーバから IP アドレスと DNS の情報を受信すると、DNS に接続して CISCO-CAPWAP-CONTROLLER.localdomain を解決します。DNS からコントローラの IP アドレスのリストを受信すると、AP はコントローラに検出要求を送信します。

## ワイヤレスネットワークへのアクセスポイントの導入

AP を取り付けた後、次の手順に従って AP をワイヤレスネットワークに導入します。

### Procedure

**ステップ 1** 電源を接続し、AP の電源を入れます。

**ステップ 2** AP の LED を確認します。

LED に関する説明については、[アクセスポイントの LED の確認, on page 3](#) を参照してください。

- a) AP の電源を入れると、電源投入シーケンスが開始されたことを AP の LED で確認できます。電源投入シーケンスに成功すると、検出および接続プロセスが開始されます。このプロセスの間、LED は緑色、赤色、消灯の順序で点滅します。AP がコントローラに接続すると、クライアントが関連付けられていない場合は LED が緑色になり、クライアントが関連付けられている場合は青色になります。
- b) LED が点灯していない場合は、おそらく AP に電源が供給されていません。
- c) LED が 5 分以上連続して点滅している場合、AP はプライマリ、セカンダリ、およびターシャリの各コントローラを検出できていません。AP とコントローラ間の接続を確認し、AP とコントローラが同じサブネット上にあることや、AP がプライマリ、セカンダリ、ターシャリの各コントローラに戻る経路があることを確認してください。AP がコントローラと同じサブネット上にない場合は、AP と同じサブネット上に正しく設定された DHCP サーバがあることを確認します。詳細については、[DHCP オプション 43 の設定](#) を参照してください。

**ステップ 3** このコントローラがプライマリコントローラにならないように再設定します。

**Note** プライマリコントローラは、AP のみを設定するために使用します。稼働中のネットワークでは、このコントローラを使用しないでください。

## アクセスポイントの LED の確認

AP のステータス LED の位置は、AP 上のポートおよびコネクタ に示されています。



**Note** LED ステータスの色は、装置ごとに色の強さおよび色彩が若干異なります。これは、LED メーカーの仕様の正常な範囲内であり、障害ではありません。ただし、LED の強さはコントローラから変更できます。

AP のステータス LED はさまざまな状態を示します。次の表で詳細を説明します。

**Table 1: AP の LED 信号**

LED メッセージタイプ	色	意味
ブートローダの状態シーケンス	緑の点滅	ブートローダの状態シーケンス <ul style="list-style-type: none"> <li>• DRAM メモリ テスト中</li> <li>• DRAM メモリ テスト OK</li> <li>• ボードの初期化中</li> <li>• フラッシュ ファイル システムの初期化中</li> <li>• フラッシュ メモリ テスト OK</li> <li>• イーサネットの初期化中</li> <li>• イーサネット OK</li> <li>• AP OS の起動中</li> <li>• 初期化成功</li> </ul>
アソシエーションの状態	点灯時間の短い緑の点滅	この状態は、通常動作状態を示します。ユニットはコントローラに結合されていますが、ワイヤレスクライアントが関連付けられていません。
	緑の点灯	正常な動作状態で、少なくとも 1 台のワイヤレスクライアントが装置にアソシエートされています。

LED メッセージタイプ	色	意味
動作状態	橙の点滅	ソフトウェア アップグレードが進行中
	緑、赤、橙の繰り返し	検出または接続プロセスが進行中
	赤、緑、橙の点灯と消灯の素早い切り替わり	この状態は、AP のロケーションコマンドが呼び出されたことを示します。
	赤の点滅	この状態は、イーサネットリンクが機能していないことを示しています。
ブートローダの警告	橙の点滅	設定リカバリが進行中（リセット ボタンが2～3 秒長押しされた場合）
	赤	イーサネット障害またはイメージリカバリが発生（リセット ボタンが20～30 秒長押しされた場合）
	緑の点滅	イメージリカバリが進行中（リセットボタンがリリースされた）

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。